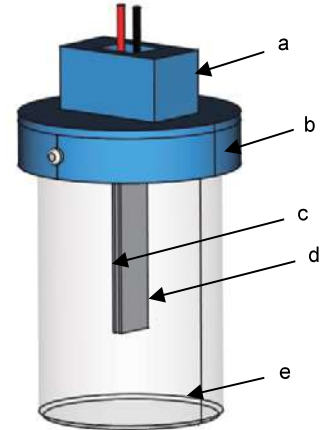


BDDダイヤモンド電極を使用した電解セル 簡単に性能を評価することが可能です

仕様

名称	構成、材質
a) 端子カバー	ABS
b) 本体	ABS、シリコン樹脂、ステンレス、PC、チタン合金、導線
c) 電極（陽極）	BDD（片面成膜）/Si（基材）
d) 電極（陰極）	TD-シリーズ：c)に同じ、D-シリーズ：ステンレス
e) 70ml容量容器	ガラス

※仕様は予告なく変更する場合があります。



電解合成のテストを簡単に行うことを目的とした電解セルです。

電位窓の広いポロンドープダイヤモンド(BDD)を陽極に使用しており、この電極は過酸化物等の生成が可能、耐薬品性が高いことを特徴としています。

D-シリーズではBDDを陽極にのみ使用しており、TD-シリーズでは、陽極・陰極両方にBDD電極を使用しています。

そのため、TDシリーズは、耐薬品の特徴を生かすことができ、また極性転換が可能であるため電極付着物(スケール等)の除去も容易です。

標準品

	TD-1040	TD-2040	D-1040	D-2040
電極サイズ (露出部)	10×40mm	20×40mm	10×40mm	20×40mm
陽極	BDD（片面成膜）/Si（基材）			
陰極	BDD（片面成膜）/Si（基材）		ステンレス	

使用方法 例)メチレンブルーの脱色

電気分解により生成する過酸化物等の効果により脱色が起こります。

用意するもの

- ・簡易セル
- ・直流電源
- ・着色液



試験系

本体固定方法

電解前後の比較

- 1) 本体に任意の直流電源を接続します。
- 2) 被電解液を入れ、樹脂ネジを締めガラス容器に固定します。
- 3) 電流を流します。